



ほかにはない  
アンサーを。

# 2016年9月期 決算説明資料

2016年11月14日  
オリックス銀行

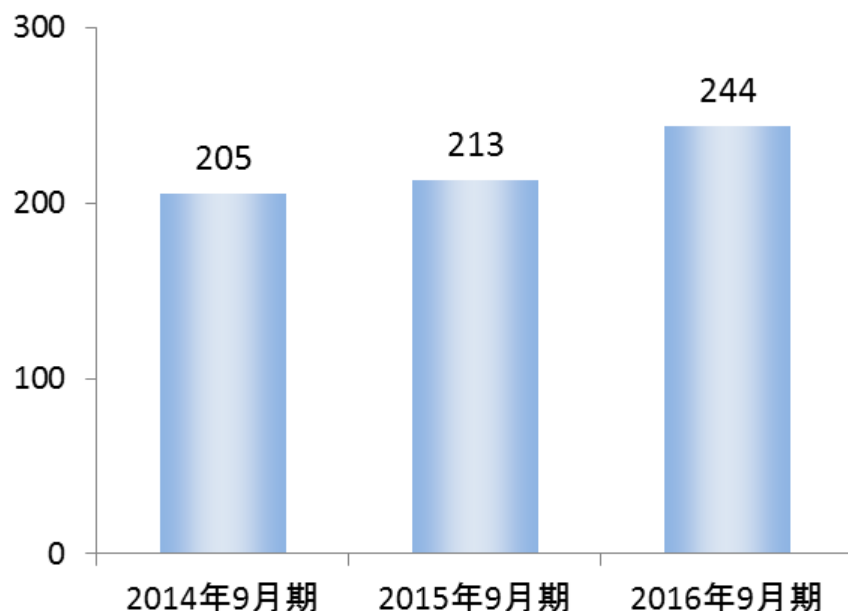
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、  
表示しています。

# 損益の状況

- 経常収益・当期純利益ともに最高益を更新。
- 業務粗利益は資金運用収支が大きく寄与し前年同期比で15%増。

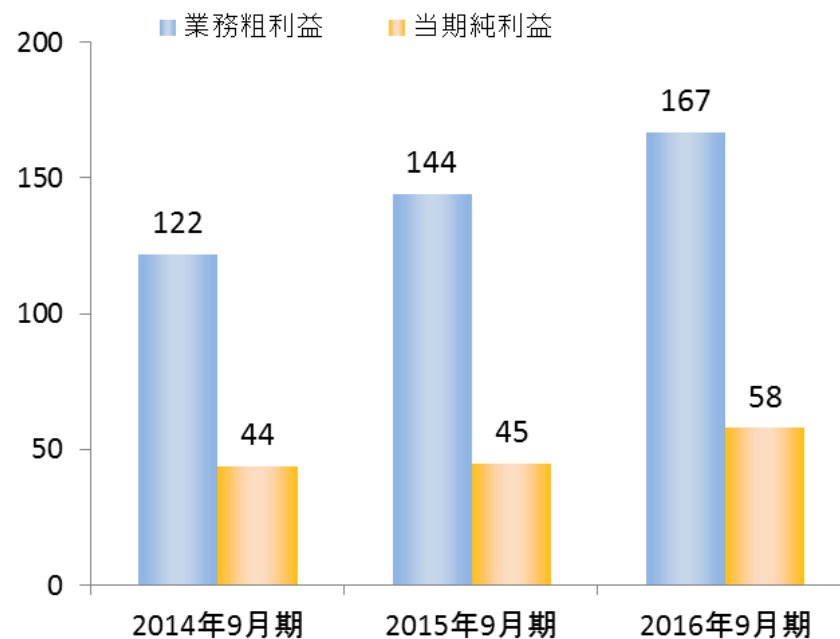
## 経常収益

(単位:億円)



## 業務粗利益・当期純利益

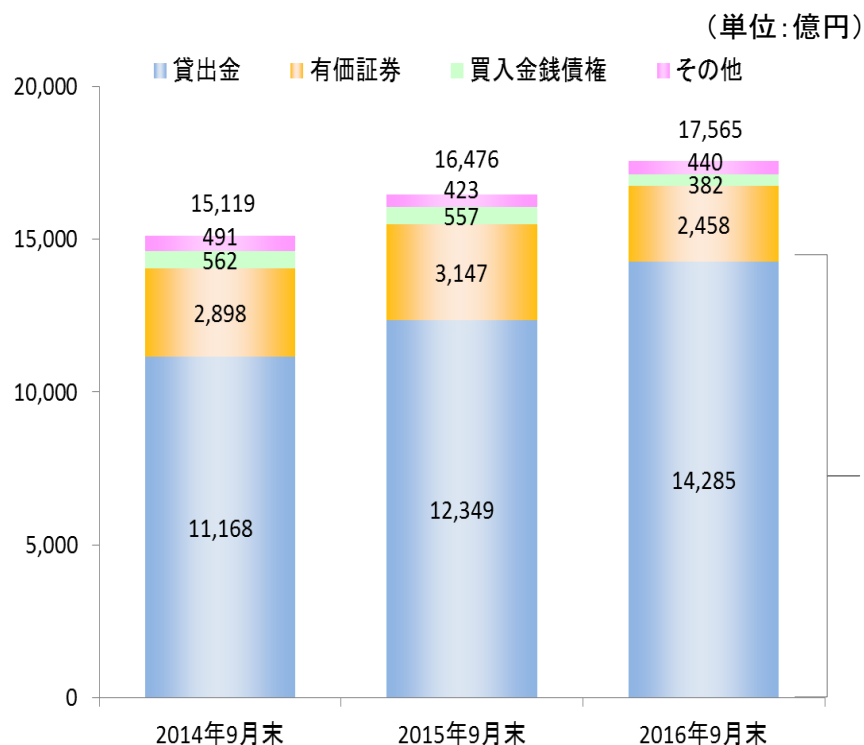
(単位:億円)



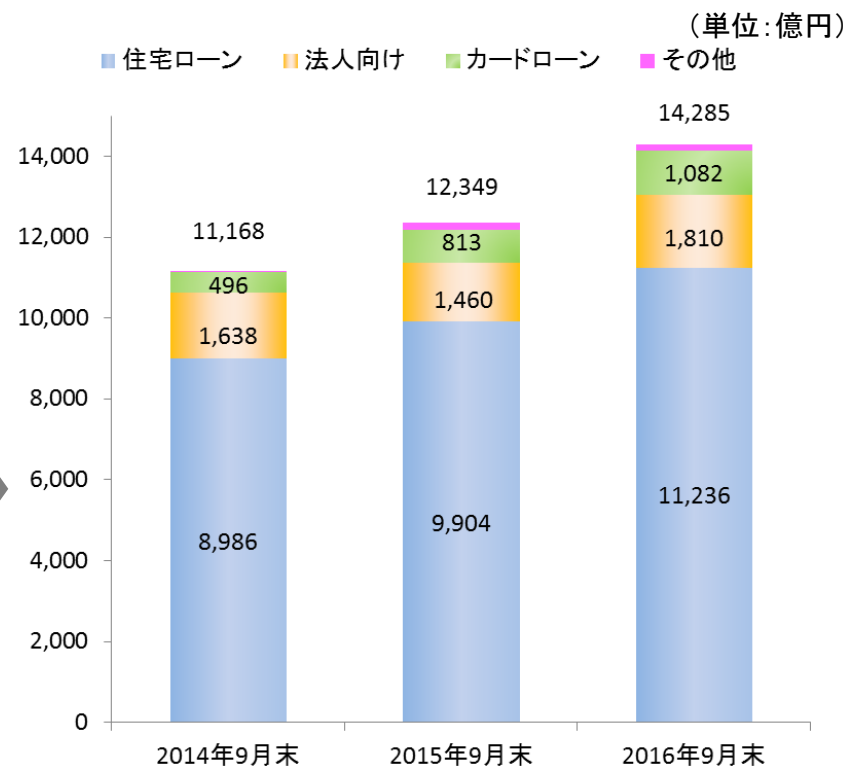
# 貸出金の状況

- カードローン残高は当期1,000億円を突破。
- 主力の住宅ローンを中心に残高を伸ばし、貸出金残高は前年同期比15%増。

## 運用資産残高



## 貸出金残高

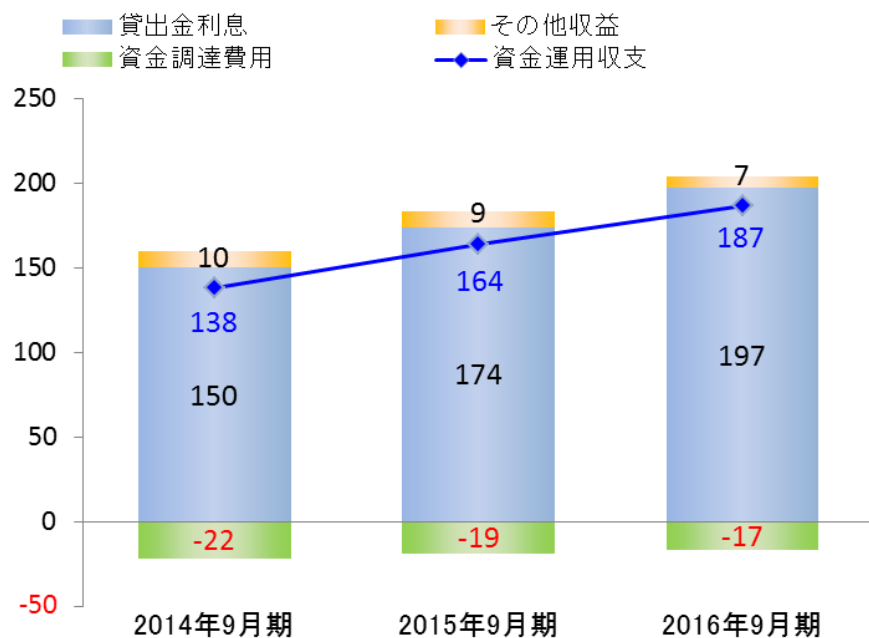


# 資金運用の状況

- 貸出金の伸長に伴い、資金運用収支は前年同期比で14%増。
- 金利低下が続く中、資金粗利鞘は前年同期比で0.13ポイント良化。

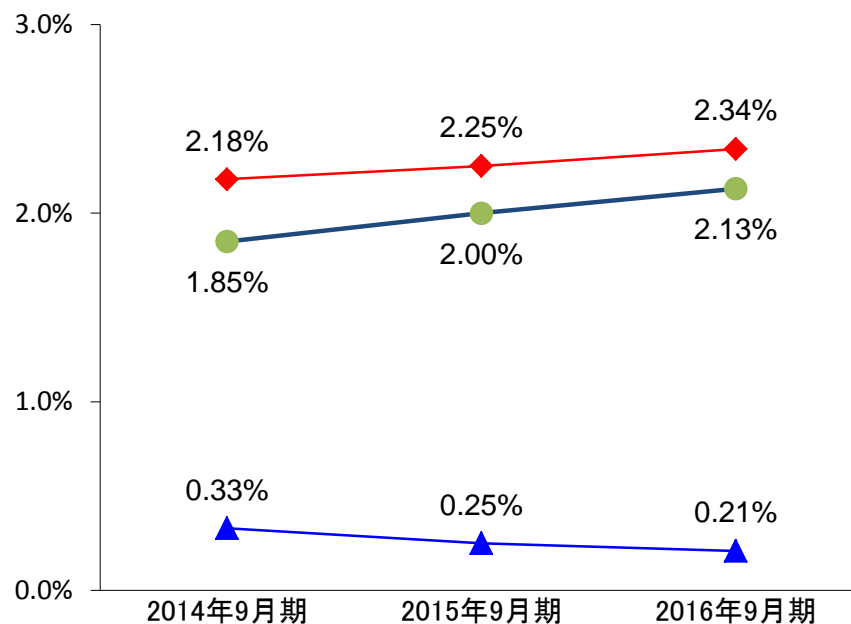
## 資金運用収支

(単位:億円)



## 資金粗利鞘・利回り

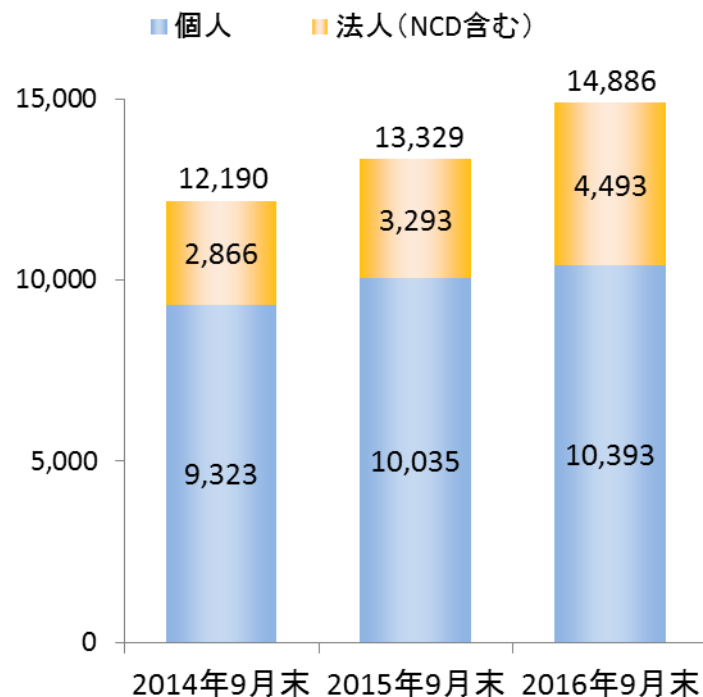
◆ 資金運用利回り ▲ 資金調達利回り ● 資金粗利鞘



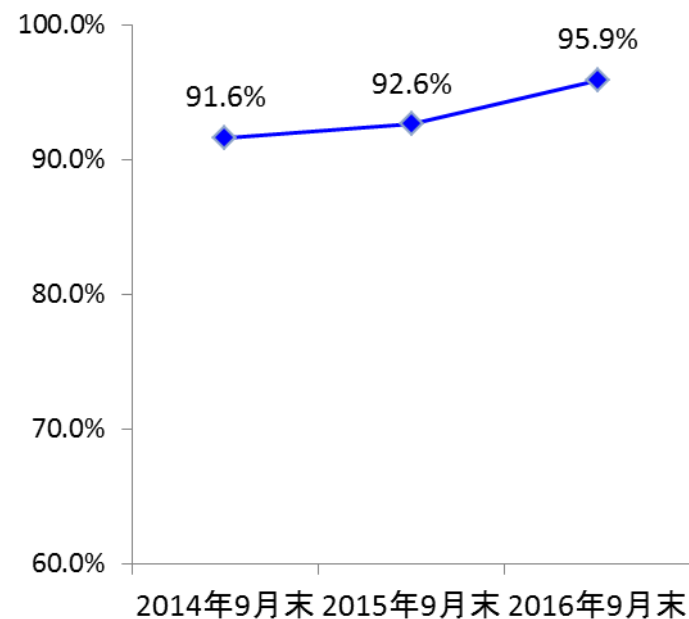
- 個人預金・法人預金共に順調に増加。
- 預貸率は高水準を維持し前年同期比で3.3ポイント増。

## 預金残高

(単位: 億円)



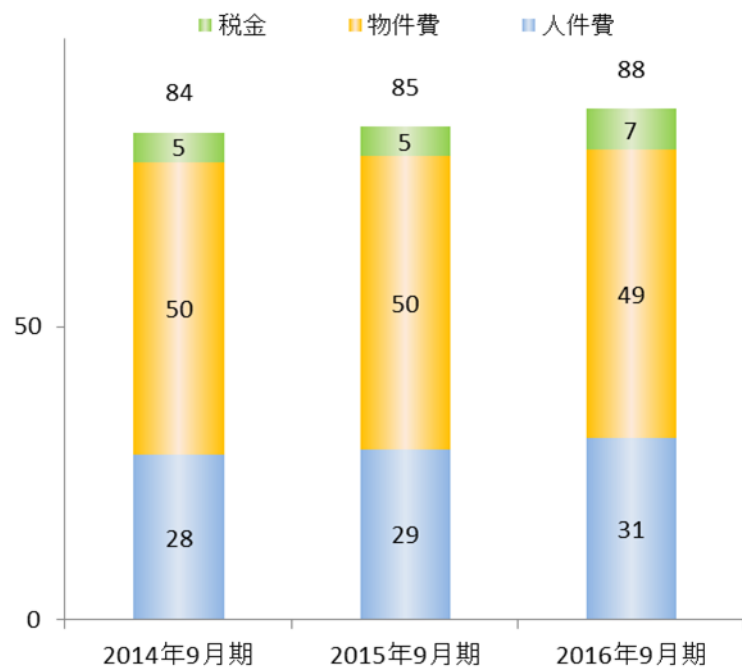
## 預貸率



➤ 業容を拡大しつつ営業経費を抑制、経费率は前年同期比で6.5ポイントの低下。

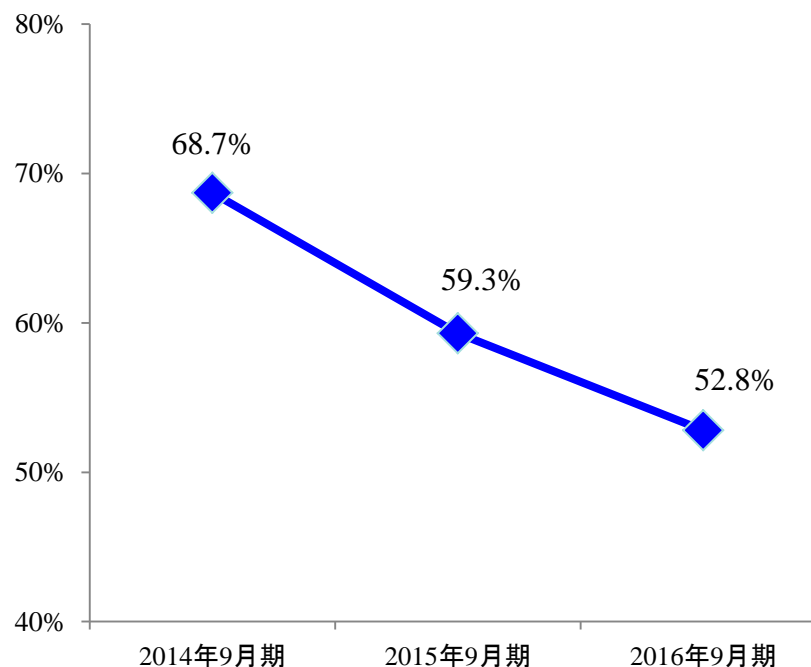
## 営業経費

(単位: 億円)



## 経费率

※経费率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益

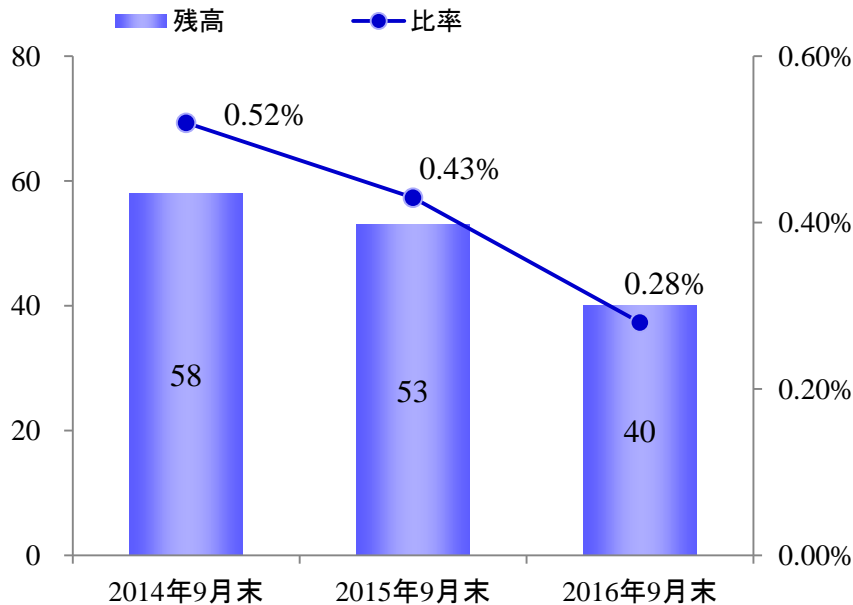


# リスク管理債権(不良債権)の状況

- リスク管理債権残高・同比率は引き続き低減。
- 与信関連費用は貸出金増加による引当金の増加を中心に3億円を計上。

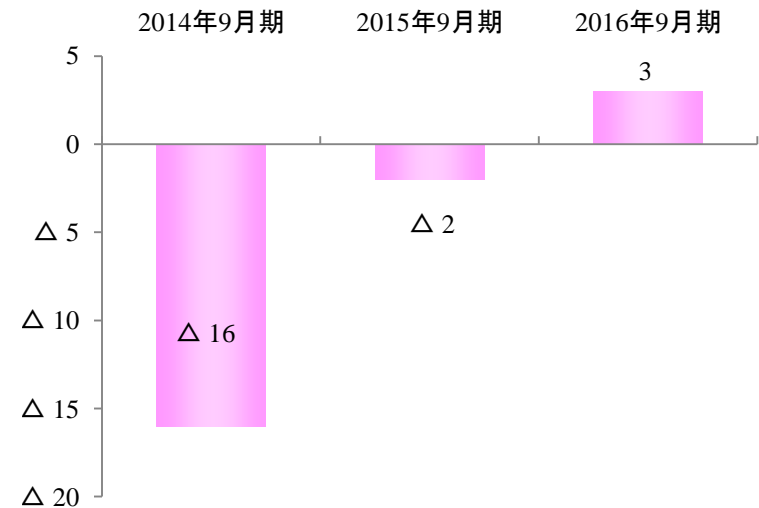
## リスク管理債権残高・同比率

(単位:億円)



## 与信関連費用

※償却債権取立益を含む / △符号は戻り益



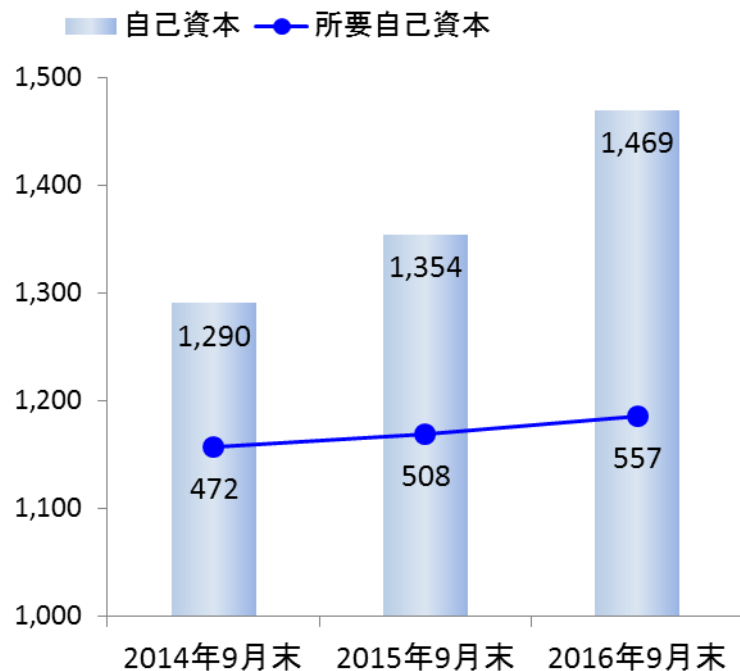
# 自己資本の状況

- 自己資本額は前年同期比で8%増加し、自己資本比率は健全な水準で推移。

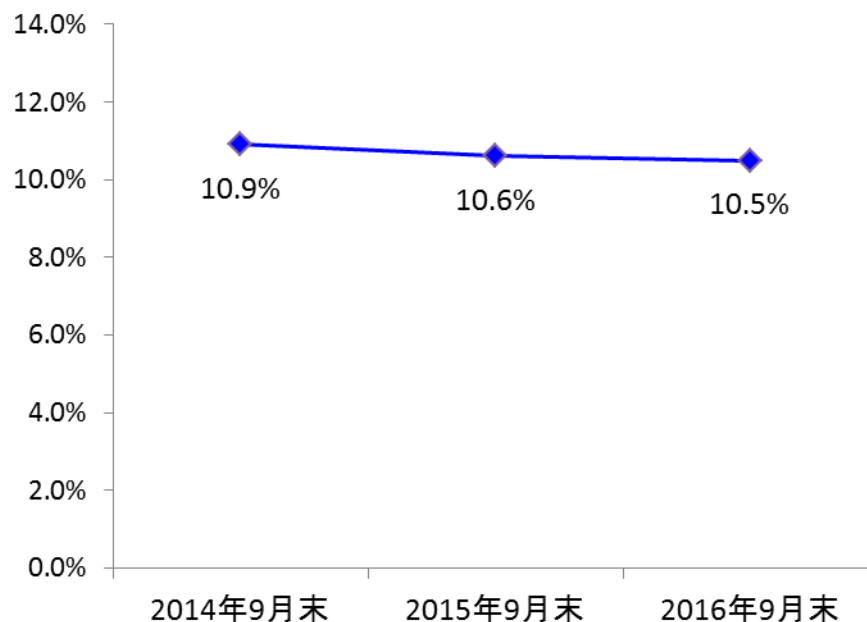
## 自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

(単位: 億円)



## 自己資本比率





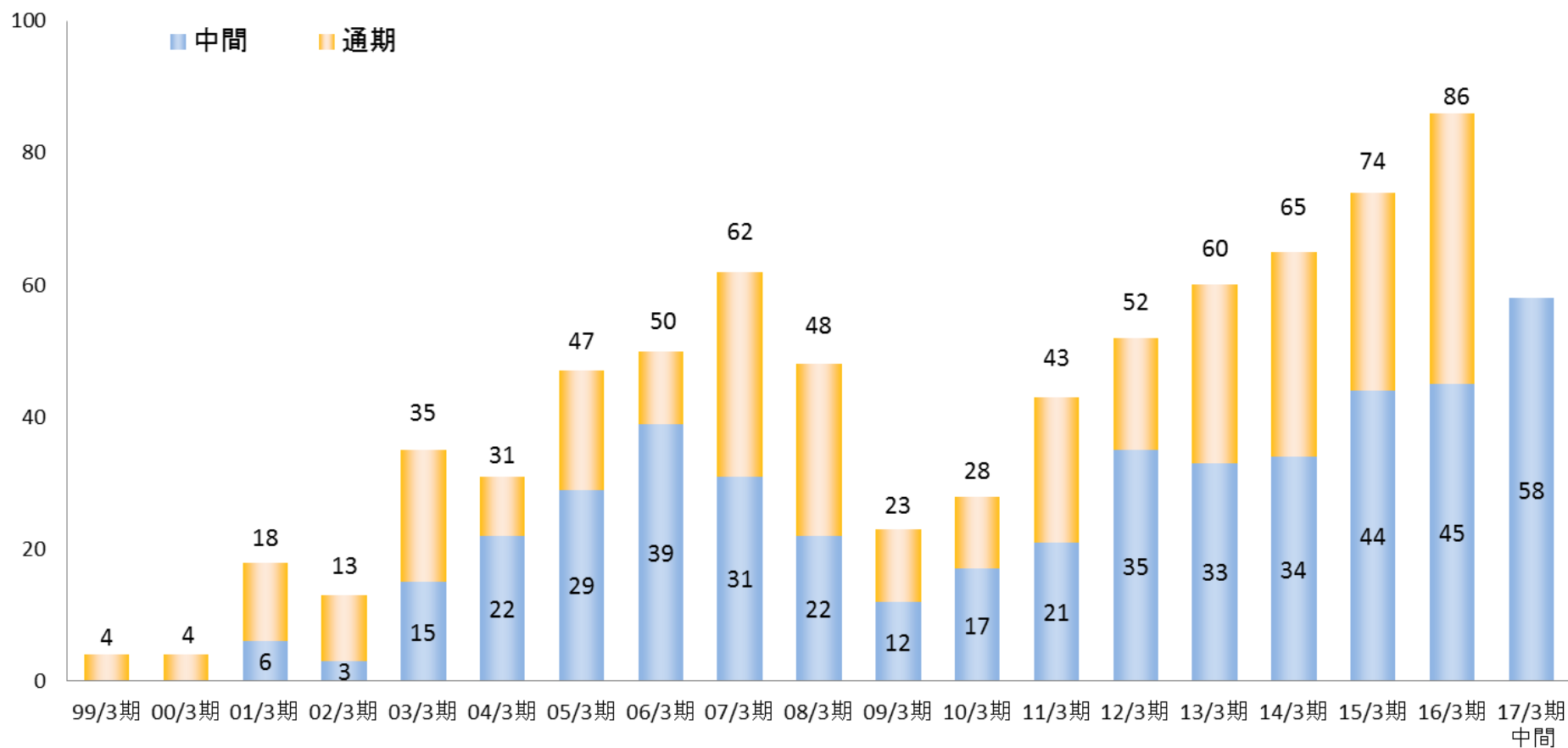
# 補足資料

# 補足資料(1) 当期純利益の推移



(単位:億円)

➤ 今期は初めて100億を超える当期純利益を見込む。



## 補足資料(2) 損益の状況



(単位:億円)

- 増収増益。
- 資金運用収支は、貸出金の伸長および預金金利の低下を主因として増加。

	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	前年同期比	
				増減額	増減率
経常収益	205	213	244	30	14%
業務粗利益	122	144	167	22	15%
信託報酬	2	2	1	0	△ 8%
資金運用収支	138	164	187	23	14%
役務取引等収支	△ 19	△ 28	△ 33	△ 4	△ 17%
その他業務収支	1	6	10	4	73%
営業経費	84	85	88	2	3%
業務純益	38	58	76	17	30%
経常利益	69	67	85	17	25%
当期純利益	44	45	58	13	30%
与信関連費用	△ 16	△ 2	3	5	-

※業務純益は「業務粗利益」から「営業経費」および「一般貸倒引当金繰入額」を控除して算出

※与信関連費用は△符号が戻り益

## 補足資料(3) 資産・負債・純資産の状況



(単位:億円)

- 貸出金の増加を主因として、総資産は前年同期比で6%増。
- 有価証券は効率的なポートフォリオ運営を目的に減少させ、前年同期比21%減。

	2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	前年同期比		2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	前年同期比
現金預け金	296	265	475	210	預金	10,721	11,366	12,134	767
コールローン	240	200	0	△ 200	譲渡性預金	1,469	1,962	2,752	790
買入金銭債権	562	557	382	△ 175	コールマネー	100	385	320	△ 65
劣後受益権	213	196	143	△ 52	借入金	1,485	1,361	800	△ 561
ABS他	349	361	238	△ 122	信託勘定借	10	42	67	25
有価証券	2,898	3,147	2,458	△ 688	その他負債	153	95	103	8
国債・地方債	1,618	1,907	1,428	△ 479	賞与引当金等	3	3	4	0
その他	1,280	1,240	1,030	△ 209	支払承諾	68	95	177	81
貸出金	11,168	12,349	14,285	1,935	<b>負債の部</b>	<b>14,012</b>	<b>15,311</b>	<b>16,359</b>	<b>1,047</b>
その他資産	55	35	41	5	資本金	450	450	450	-
有形固定資産	46	46	45	0	資本剰余金	178	178	178	-
無形固定資産	34	32	26	△ 5	利益剰余金	668	743	844	100
繰延税金資産	5	7	3	△ 4	株主資本合計	1,296	1,371	1,472	100
支払承諾見返	68	95	177	81	評価・換算差額等合計	26	18	29	11
貸倒引当金	△ 41	△ 35	△ 35	0	<b>純資産の部</b>	<b>1,322</b>	<b>1,390</b>	<b>1,501</b>	<b>111</b>
<b>資産の部</b>	<b>15,335</b>	<b>16,701</b>	<b>17,860</b>	<b>1,159</b>	<b>負債および純資産の部合計</b>	<b>15,335</b>	<b>16,701</b>	<b>17,860</b>	<b>1,159</b>

## 補足資料(4) 信託業務の状況



(単位:億円)

- 指定金銭信託はeダイレクト金銭信託を中心に順調に増加。
- 信託財産の残高は前年同期比で6%減。

	2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	前年同期比
貸出金	324	598	989	390
有価証券	456	563	503	△ 59
信託受益権	89	953	925	△ 27
受託有価証券	28	19	10	△ 8
金銭債権	1,846	2,078	1,608	△ 469
有形固定資産	1,366	1,194	1,018	△ 175
その他債権	12	0	-	0
銀行勘定貸	10	42	67	25
現金預け金	287	182	142	△ 39
<b>資産合計</b>	<b>4,423</b>	<b>5,631</b>	<b>5,266</b>	<b>△ 365</b>

指定金銭信託	272	591	692	100
特定金銭信託	64	54	60	6
金銭信託以外の金銭の信託	566	623	837	214
有価証券の信託	28	19	36	17
金銭債権の信託	21	20	19	△ 1
包括信託	3,470	4,322	3,619	△ 702
<b>負債合計</b>	<b>4,423</b>	<b>5,631</b>	<b>5,266</b>	<b>△ 365</b>

# 補足資料(5) リスク管理債権(不良債権)の状況



(単位: 億円)

➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低減かつ低水準を維持。

## リスク管理債権残高

	2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	前年同期比
破綻先債権	1	0	1	0
延滞債権	46	44	32	△ 12
3ヵ月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	10	7	5	△ 1
<b>残高</b>	<b>58</b>	<b>53</b>	<b>40</b>	<b>△ 13</b>

## 金融再生法ベース開示債権残高

	2014年9月末	2015年9月末	2016年9月末	前年同期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9	14	20	5
危険債権	39	32	14	△ 18
要管理債権	10	7	5	△ 1
正常債権	11,192	12,406	14,455	2,048
<b>合計</b>	<b>11,252</b>	<b>12,461</b>	<b>14,495</b>	<b>2,034</b>

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

